

## 平成30年度第1回大船渡市固定資産評価審査委員会会議記録

日 時 平成30年10月12日(金) 午後1時10分～午後1時45分  
場 所 大船渡市役所応接室  
出席委員 田村福子委員、金哲朗委員、鈴木信男委員  
事務局 田中総務部長、江刺総務課長 伊藤課長補佐、石橋係長  
評価担当課 熊澤税務課長、新沼係長

### 議事等内容

- 1 委員長の選任について  
委員長に金哲朗委員を互選。
- 2 委員長職務代理者の指定について  
金委員長が鈴木信男委員を指定。
- 3 審査申出の状況等について
  - ア 平成29年度固定資産審査申出の件数について  
事務局（石橋係長）が審査申出件数を説明。
  - イ 平成30年度固定資産課税台帳の縦覧結果について  
熊澤税務課長が縦覧結果を説明。

### 質疑

（鈴木委員）審査申出はないということであったが、価格以外についての審査請求はなかったか。

（石橋係長）価格についての審査申出はなく、価格以外の賦課などその他についての審査請求もなかった。

（鈴木委員）評価替えの年であり大変だったと思うが、価格が変動した場所などはなかったか。

（新沼係長）価格の大きな変動という点では、盛、大船渡、末崎、猪川、立根については上昇地点が多かった。赤崎については比較的変動が少なかった。日頃市、綾里、越喜来、吉浜については下落傾向が強かった。

（鈴木委員）赤崎について、あまり変動がないというのはどういう状況なのか。まだ震災の影響で整備がされていないということと関わりがあるのか。

（新沼係長）需要と供給のバランスになると思うが、今までの価格と大きな差異がないと鑑定したものと認識している。

（鈴木委員）不動産鑑定士が地点を決めて鑑定していると思うが、日頃市や三陸町地域が下落したというのは宅地なのか農地なのか。

(新沼係長) 鑑定していただいているのは宅地で、需要が少ないため価格が下落傾向にあるということだと認識している。農地や山林は横ばい状態となっている。

#### 4 その他

熊澤税務課長が別添資料固定資産税の状況（東日本大震災関連）を説明。

##### 質疑

(鈴木委員) 平成30年は新築家屋数が多くなるという見込みはないのか。

(税務課長) 去年は木造で年間200棟以上の新築があったが、上半期の状況を考慮すると、木造で170～180棟を見込んでいる。

(鈴木委員) 防災集団移転事業以外で、工場や店舗が新築される見込みは。

(税務課長) 大船渡駅周辺で見込まれるが、その他の地域については新築が増える要素はないのではないかとと思われる。